



▲オープンを祝うスタッフと参加者

「おでかけたんぼぽ」オープン  
地域子育て支援拠点の拡充

4月13日、サンフレッシュ白河（久田野）に、新たな子育て支援拠点「おでかけたんぼぽ」がオープンしました。同施設は、子育て世代を支援しているNPO法人「子育て環境を考える虹の会（永野美代子理事長）」が、市の委託を受け「たんぼぽサロン」（郭内）の出張ひろばとして運営するもので、月・木曜日の週2回、午前10時から午後3時まで開設しています。

当日は、しらかわんも駆け付け、子どもたちや保護者らがスタッフとの交流を楽しみました。



▲山頂の満願寺を目指す参加者

関山山開き  
春の訪れを楽しむ

3月26日、関山（標高619m）で、山開きが行われ、県内外から集まった約1,100人の参加者が、春の訪れを楽しみながら、山頂を目指しました。

実行委員会の主催で、出発前のイベントでは福島市出身のタレント・なすびさんによるトークショーが行われ、山頂では豚汁や甘茶が振る舞われたほか、護摩祈禱の焼き印が入った登頂記念の守札がプレゼントされました。また、登山者のために、金子弘忠さん（小田川）から約600本の杖が提供されました。



▲テープカットをする関係者

三菱ガス化学㈱「QOLイノベーションセンター白河」竣工式

4月14日、工業の森・新白河B工区（豊地）で、三菱ガス化学㈱（東京都、倉井敏磨社長）の製造・研究開発拠点「QOLイノベーションセンター白河」の竣工式が行われ、関係者らが新拠点の誕生を祝いました。同センターでは、「MGCエージレス㈱」「MGCフィルシート㈱」「QOLビジネスファシリテイ㈱」の3社が既に操業し、約180人が従事しています。同社は、QOL（生活の質）を高めるための新製品開発など、グループ企業の集約を見据えており、更なる活躍が期待されます。



1. 復興を誓い合った関係者 2. 「花は咲く」を合唱する森公美子さんと安積黎明高校合唱団 3. 映像に合わせて和太鼓演奏を繰り広げる「無限」 4. 白河だるまも湖面から登場

はるか2017〜白河花がかり〜  
水と光と音の演出で幻想的な空間に包まれる

4月8日、南湖公園を舞台に、プロジェクト「fukushimaさくらプロジェクト」は「はるか2017〜白河花がかり〜」が行われ、約7,000人の観客が訪れました。

本市での開催は、昨年引き続き2回目、今回は湖面に作られたウォータースクリーンや公園内の木々へ、幻想的な映像が映し出されました。

作品は、南湖に宿る精霊が、青龍、朱雀、白虎、玄武の四神となって駆け巡り、大きな桜を咲かせる物語で、

特設ステージでは映像に合わせて和太鼓グループ「無限」や「大信こだま太鼓」が、勇壮な演奏を繰り広げました。また、歌手の森公美子さんが「コミネス混声合唱団」や「安積黎明高校合唱団」とともに復興支援ソング「花は咲く」を合唱し、美しい歌声で来場者を魅了しました。

7日の公開リハーサルでは、主催者から同プロジェクトに込められた思いが語られ、会場に駆け付けた山本幸三地方創生担当大臣らと、東日本大震災からの更なる復興を誓い合いました。



▲勇壮な姿の甲冑武者行列

白河小峰城さくらまつり  
満開の桜を満喫

4月15日・16日の2日間、城山公園（郭内）で「白河小峰城さくらまつり」が開催され、県内外から約3万1千人が訪れました。

16日は、川越藩火縄銃鉄砲隊保存会による「火縄銃演武」が行われ、甲冑に身を包んだ武将から放たれる火縄銃の轟音に、会場からは大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

演武に先立ち、甲冑武者行列・姫行列も行われ、多くの観客が満開の桜と小峰城を背景に繰り広げられる歴史絵巻を楽しみました。